2026年度大手前大学交流文化研究所シンポジウム

感情をデザインする

心理学・共感覚・音楽・アートから探る表現の可能性



日時：2026年12月12日（土）13:00-16:00

会場：大手前大学夙川キャンパス CELLフォーラム

感情をデザインする

心理学・共感覚・音楽・アートから探る表現の可能性

「感情とは脳が身体予算の変化を予測した結果である。」
構成主義的情動理論はこれまでの感情理論を刷新する。
「感情表現」を突き詰めてきた音楽家たちはこの理論をどのように捉えるのか。
最新の感情理論と音楽家の演奏が交錯することで、我々の世界の捉え方を見直し、感情表現や感情コントロールの可能性を探究する。

日時：2026年12月12日（土）13:00-16:00
会場：大手前大学夙川キャンパス CELLフォーラム

参加費無料
定員50名

山口 葵　アーティスト

音や感情、言葉などに色や形を感じる「共感覚」をもとに制作する、共感覚アーティスト。自身の感覚を作品として表現しながら、さまざまな実践や発信を通して、言葉になりにくい感覚を社会・教育・福祉へつなげている。どんな特性を持つ人も、生きづらさや孤独を抱えず、自分らしく表現できる社会を目指して活動している。大阪芸術大学美術学科で学び直し中。

田崎 尚美　ピアニスト

ピアノ演奏、楽譜浄書、DTMによる音楽制作など、多岐に渡る音楽活動を展開。アコースティックな生演奏とデジタル技術の双方を活用し、ジャンルやスタイルにとらわれない音楽表現に取り組んでいる。自身の共感覚は音楽を捉えるひとつの視点であり、「奏でる、作る、聴く、見る、考える」など、さまざまな角度から音楽の可能性を探求している。

服部 陽介　心理学

落ち込みなどのネガティブな感情と制御の困難な思考のループの関係について興味を持ち，研究を行っている。日常生活の中で生まれた気づきを大切にしたいと考えており，近年は，目移りや浮気，AI，推し活，おじさん構文など，担当する学生たちが持ち込んだテーマをきっかけに研究を展開することも多い。甘党。

濱田 大佐　心理学

人間の主観世界を理解する手がかりとして共感覚研究を行っている。共感覚とは文字を見たら色を感じたり、音を聞くと色を感じる特殊な現象である。この現象を理解できれば、人々がどのようにして主観的な世界を構築しているのか、その一端を理解できるのではと考えている。

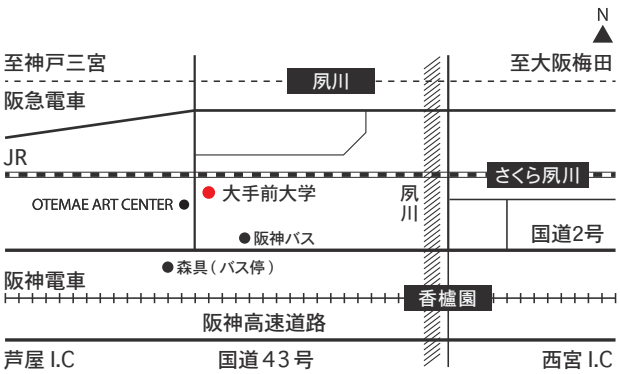
■参加方法

定員50名にて事前お申し込みを受け付けます。
入場にあたっては、事前お申し込みの方を優先いたします。
上限に達した場合などで、当日会場でのお申し込みをお断りすることがございます。
事前お申し込みは、インターネットでの受付専用URL、あるいは受付用QRコードからできます。

受付専用 URL：https://forms.gle/fforZa6onQ7RNPF4A
ライブ配信 URL：
https://www.youtube.com/live/U6vpZRhpjb0?si=PXX5Y5t7buvXAVWx

受付用QRコード

ライブ配信QRコード



JR神戸線さくら夙川駅、阪急神戸線夙川駅、阪神本線香櫨園駅
各駅から徒歩約７分

お問合せ：kouryu@otemae.ac.jp（大手前大学交流文化研究所）